

# 年頭のご挨拶



浦幌町長  
八木 忠宏  
やぎ・ただひろ

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい希望に満ちた新春を、ご家族共々お迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

さて、昨年の町内の基幹産業は、農業においては、平成16年と17年には連続して過去の生産比較で増量となり、本年も増量が見込めるのではないかと大きな期待を寄せていたところですが、一転して春先及び7月の異常気象による冷湿干害そして生乳生産抑制と農業情勢に与っては予断が許されない状況となりました。

収穫の時期を迎えるにあたり、少しでも作柄の回復を願っていましたが、冷湿干害の影響を受け、小麦で一部品種がやや平年よりも上回ったものの、馬鈴しょ、てん菜が平年より下回り、大豆を除いた豆類においても下回った結果となり、また生乳生産抑制に係っても前年比約2%の減産目標が設定され、厳しい状況となり残念な思いであります。

その中において関係機関のご協力のもと「異常気象に伴う連絡会議」の設置、「牛乳消費拡大の取り組み」を図り、基盤整備の実施、そして「牛乳消費拡大キャンペーン」を進め、地産地消から「うらほろ」の牛乳を多くの町民の方にご利用いただきました。

農業被害対策に全力をあげて取り組んだ年でありましたが、農業行政面においても町民の皆様が心温まる気持ちを感じました。

漁業については、本町漁業の中心であります秋さけ漁が、10月の低気圧により甚大な魚網被害を被りましたが、販売高では依然とした海外

向け需要の高まりから昨年を上回りましたが、林業においては依然木材市況の低迷が続いており、本町の地域経済は厳しい一年であったと思っております。

迎えた新年は、景気拡大が「いざなぎ景気」を抜いて戦後最長になったと言われていますが、地方を取り巻く環境は依然として先行き不透明で、厳しい財政運営を強いられるものと予想しています。

本町の財政状況は、赤字再建団体を避けるため、行政、議会、町民が協働して行政改革や財政再建を進めるべく、各種使用料、手数料等の改定を行い町民の皆様にご負担や痛みをお願いし、公共施設の管理運営についても、利用する団体に自主管理を行っていただき、議員報酬、職員給与の削減についてもご協力をいただき、小さな明かりが見えてきたところです。

しかしながら、国が進める三位一体改革や、新型交付税の導入等により厳しい財政運営が予想され、更なる行政改革により事務事業の見直しをはじめ行政のスリム化、効率化を図る必要があり、町民の皆様のご理解とご協力を申し上げます。

本年も数多くの課題がありますが、これを乗り切るため町民の皆さん、行政、議会と協働して邁進していかねばならないと思っております。

新春の門出にあたり、平成19年が皆様にとりましてご多幸で最良の年でありますようご祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

# 2007年

浦幌町議会議長  
水沢 一広  
みずさわ・かずひろ



あけましておめでとうございます。  
皆様には平成19年の輝かしい希望の年を迎えられたこととお喜びを申し上げます。

昨年は生乳の生産調整に始まり、春先からの天候不順による農作物への甚大な被害が続き、更には秋に低気圧による定置網漁業への被害という、浦幌町の基幹産業である第一次産業はかつてない大きなダメージを受けた年でありました。

又、昨年驚かされたのは夕張市が630億もの負債を抱えて不正な会計処理をしていた事が明らかとなり、財政再建団体に陥らざるを得なかった事です。

それを結果的に見逃してしまい、チェック機能としての議会の役割を果たして来なかったことは許されることなく、市民からの非難が巻き起こった事も当然の事であり、浦幌町議会としても「他山の石」とし、その責務の重大性を再認識すべきと議員一同誓い合った年でもありました。

昨年は安倍内閣が成立致しましたが、国の財政問題や三位一体改革の中で、地方公共団体に対する風は「新型交付税」といった逆風となっており、ますます強まっております。

浦幌町は大胆な財政再建計画に取り組み、何とか管内でも一番厳しいと言われた町財政

を少し明かりが見えるところまで改善して来ましたが、それも町民の皆さんに各種手数料、使用料の値上げや、補助金の削減といった負担をお願いし、又町職員の給与や議員報酬の引き下げといった行政改革を断行した成果が出てきたものです。

今年には参議院選挙と地方統一選挙があり、浦幌町の今後を決定する大切な年となります。

議会は昨年中に議員定数の3名減員の議決をし、今年の地方統一選挙から定数13名とすることを決定していますが、地方分権が進められていく中で、国・道からの権限が町に移譲され、自治体の行政能力がますます問われていく中で、議会が果たさなければならぬ役割も比例的に拡大しております。

今後とも議会は効率的・効果的な町財政の運営がなされるようにチェック機能という議会本来の責務を果たして、厳しい時代に対応した議会活動を展開し、町理事者と共に少しでも住みよい町づくりを目指し、誤る事のない道を模索していきたいと考えておりますので、より一層の御指導と御理解をいただき、すようをお願い申し上げます。

終わりに、平成19年が町民の皆様にとりまして御健勝で幸多き年でありませうと祈念申し上げます、新年のご挨拶と致します。